

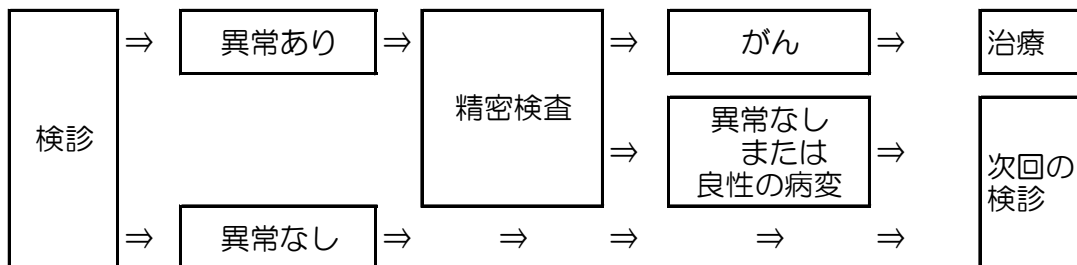
## ～ がん検診について ～

私たちのおよそ2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。

がんによる死亡を防ぐためには、生活習慣に気をつけることと検診を受けることが重要です。

年に一度は検診を受けて、健康チェックを行うとともに、生活習慣を振り返りましょう。

検診の流れ



●検診結果が要精密検査となった場合には、かかりつけ医に相談し、必ず精密検査を受けてください。

●がん検診は、継続して受けることが重要です。

疾患	がんの特徴について	症状について	市での検診内容
肺がん	喫煙との関係が非常に深く、喫煙する人は喫煙しない人に比べて肺がんになるリスクが高い。また、周囲に流れるたばこの煙を吸う受動喫煙も肺がんになるリスクを高めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• なかなか治らない咳</li> <li>• 声のかすれ</li> <li>• 息切れ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レントゲン検査</li> <li>• 喀痰細胞診</li> </ul>
胃がん	胃がんは、早い段階で自覚症状が出ることは少なく、かなり進行しても無症状の場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 胃の痛み、不快感、違和感</li> <li>• 食欲不振</li> <li>• 貧血</li> <li>• 黒い便 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レントゲン検査(バリウム)</li> <li>• 内視鏡</li> </ul>
大腸がん	大腸がんになる人の割合は、男女ともに上位を占めています。進行するまで、ほとんど自覚症状がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血便</li> <li>• 下痢と便秘の繰り返し</li> <li>• 便が細い、残便感</li> <li>• おなかが張る、腹痛</li> <li>• 貧血、体重減少 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 便潜血検査</li> </ul>
子宮頸がん	ここ近年、20～30歳代に急増しています。初期の段階では、無症状のため妊娠や検診で発見されることが多いです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 月経以外での出血</li> <li>• 濃い茶色やうみのようなおりものの増加</li> <li>• 下腹部痛、腰痛</li> <li>• 尿や便に血が混じる 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 内診</li> <li>• 細胞診</li> </ul>
乳がん	女性のがんの中で最もかかる人が多いがんです。女性ホルモンが深くかかわっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 乳房のしきり</li> <li>• 乳房のひきつれ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 視触診</li> <li>• レントゲン検査(マンモグラフィ)</li> <li>• 超音波(エコー)</li> </ul>
前立腺がん	早期の前立腺がんは、特有の自覚症状はありません。多くの前立腺がんは、早期に発見すれば適切な治療を受けることができ、治癒することが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 尿が出にくい</li> <li>• 排尿回数が多い</li> <li>• 血尿</li> <li>• 腰痛 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血液検査(PSA値)</li> </ul>